

令和6年10月

大田区

「大田区立矢口西小学校校舎改築その他工事」工事説明会（令和6年10月9日）

質疑応答概要

NO	質問・ご意見等	回答
1	山留とは何か	基礎築造のため土砂を掘削した際に、周辺地盤の崩壊を防止するために掘削部周囲に設ける仮設の壁です。 H型鋼材を打ち込み、横矢板を入れて仮設の壁を設けます。
2	Ⅰ期工事の仮設図によると東側道路にミキサ車とコンクリートポンプ車があるが東側道路で行うのか	道路使用許可を受けて道路上で行います。西側敷地内にもコンクリートポンプ車を配置し、1日2台体制で行います。
3	コンクリート打設の期間と打設の頻度は	Ⅰ期工事の場合、2027年4月下旬から2027年1月下旬まで。Ⅱ期工事の場合、2027年9月中旬から2028年6月上旬までです。頻度は2週間に1、2回程度です。
4	作業員の人数はどれくらいか	Ⅰ期工事のピーク時で150～200人、Ⅱ期工事はそれよりやや少なくなります。最も少ない時で10～20人程度で、それに作業所の職員が8人程度加わります。
5	作業員の通勤車両は	公共交通機関で来る作業員もいるし、工具の持ち込みのため車で来る作業員もいます。車で来た際は周辺のコインパーキングに駐車します。
6	騒音振動計を設置するということがだが基準値はどのようなものか	騒音で80デシベル、振動で70デシベルです。この数値を超えないように作業を行います。周辺を走行する車両の騒音振動が加わると突発的に上回ることがあります。
7	数値を超えた場合はどう対処するのか	数値を超えた場合、自動的にアラートが届きます。 届いた場合、現場状況を確認し対策（改善策を講じるまで作業を中止する等）をします。

NO	質問・ご意見等	回答
8	校舎の建替えは既存校舎の老朽化により必要となったと考えてよいか	その通りです。
9	クレーンの災害（倒壊等）はどのように防ぐのか	<p>構造計算をしたうえで基礎を築造し、その上にクレーンを設置します。</p> <p>クレーンには1t吊りとか3t吊りとか吊り上げる能力があります。能力以上のものを吊り上げようとするするとブームが折れる事故が発生するので能力以上のものを吊り上げることが出来ないようリミッターで制御します。</p> <p>台風接近等強風が予想される場合、クレーンメーカーと協議し最善の方向にブームを向けて停止させる対策をとります。</p>
10	地上部の解体工事と比べて基礎解体時の数値はどうか	<p>騒音は地上部解体と同程度だと思えますが、基礎解体時は振動が地表を伝わっていくので地上部解体時より振動を感じると思います。</p> <p>丁寧な作業を心掛けなるべくご迷惑をお掛けしないよう努めます。</p>
11	今回の工事の影響で家が傾くことはあるか。	今回は掘削深さもそれほど深くなく、道路もはさんでいるので影響はないと考えています。
12	振動が不安である。先月特にひどかった。工程表で赤く示されている期間が振動が酷い期間か。	その通りです。
13	<p>自宅の2階の窓を開けた時に作業員と目が合うのが心配。</p> <p>足場を架ける日程を知らせてもらうことは可能か。</p>	<p>1階から階ごとに足場を架けて養生シートを張っていきます。養生シートを張ってしまえば気にならないと思いますが、足場を架けてシートを張り終わるまでは作業員の様子が直に見えます。</p> <p>事前にお知らせします。</p>

NO	質問・ご意見等	回答
14	<p>工事なので音が発生するのは仕方ないと思っている。うるさい日が前もってわかれば出かけるなどの対応をする。</p> <p>それでも我慢できないときは相談に乗ってもらえるか。</p>	<p>事前にお知らせします。</p> <p>P22の松井・醍醐・拓栄建設工事共同企業体に連絡いただければ何かしらの対応をいたします。</p>
15	<p>道路使用作業時の運行経路（P13）では第二京浜から車両が来ることになっているが、ガス橋方向からは来ないのか。</p>	<p>基本的にこの図の通りです。</p>
16	<p>喫煙所はどのようなものか。ただ、灰皿を置くだけか。</p>	<p>P20の説明通り、小屋を置いて集塵機を設けます。</p>
17	<p>現状の仮囲いではただ白だけで殺風景</p>	<p>仮囲いに完成予想図を貼ったりしているの他改築校の事例もあるので学校と協議して進めていきます。</p>
18	<p>電波障害について</p>	<p>電波障害については事前調査をしていますが、工事が進んでから電波障害が発生した場合には個別に対応させていただきます。</p>
19	<p>土曜日は休めないか</p>	<p>工事スケジュールとして土曜日の実施が必要となります。</p>
20	<p>解体工事中は粉じんがすごかった 粉じん対策はどのようなものか。</p>	<p>解体工事中は常時散水を行います。</p>
21	<p>養生シートを張る期間はいつか</p>	<p>工程表にて足場設置期間を説明</p>
22	<p>クレーンが建つ場所、期間、転倒防止対策は</p>	<p>場所、期間を仮設図、工程表にて説明。 転倒防止対策については前述の通り。</p>
23	<p>今回の説明会案内はどの範囲に配ったのか。 受け取っていない人がいる。</p>	<p>敷地境界線から建物の高さの2倍の長さの水平距離の範囲に9月27日に配布しました。 配布範囲は前回と変えていません。 解体工事の説明会を令和8年11月頃行う予定です。</p>